

## 「板田」と「小墾田」の名前の由来

上坂部小学校のルーツは「板田小学」にあり、その後「小墾田簡易小学校」となりました。では、「板田」と「小墾田」の名前の由来は…

### 「小墾田」

大化の改新の時の天皇である孝徳天皇が、難波宮に遷都した際、上坂部伊佐具神社近くに上陸し、風光明媚な景色を飲んで行在所「小墾田宮」を営みました。行在所（あんざいしょ）とは、天皇が遠出する際の仮の御所です。

境内の碑に「おはただの板だの橋のと絶してを ふみなおしても わたる君かな」（玉葉和歌集 善信法師）と刻まれています。（写真）

返歌「朽ちぬへき 板田のはしの橋作り 思ふまゝにもわたしつる哉」（二条院讃岐）

「小治田の 板田の橋の 壊れなば 桁より行かむな 恋ひそ我妹」万葉集。小治田は、「オハリダ」と読み「小墾田」とも書きます。推古朝の時代に「小墾田宮」を造営したと日本書紀に記されています。明日香村においては、現在は「小治田」「小墾田」の地名は残っていません。



行在所の碑



二条院讃岐

### 「板田」

摂陽群談7巻の橋の部では、【歌枕大名寄】板田橋 川辺郡上坂部村にあり 【歌枕大名寄】摂津国に然り。一説同郡七松村を証と云へり。亦尼崎の城下、東町溝川の涉り、纒なる板橋を指て、古橋の厚の跡と所伝して、私に修理せず、各其証不詳と云えども、今上坂部村に小墾田宮と称するの業祠あり。神社門に論之とあります。その一方で【夫木集】尾張国に比すともあります。

「板田小学」「小墾田簡易小学校」…校名の由来を追えば、はるか万葉の時代から始まる飛鳥の「小墾田」にその源を見出すことができます。「小墾田」「板田」の所在は諸説あれど、上坂部の人達は、その由来を大事として語り継いできたのでしょう。

「おはただの 板だの橋のと絶してを ふみなおしても わたる君かな」

返歌「朽ちぬへき 板田のはしの橋作り 思ふまゝにも わたしつる哉」

朽ちた橋をも渡る激しい恋心 想いをこめてこの歌に託すこと…

恋の「微笑み 繋がり 輝き」に感動！

そして、はるか昔と今が、綿々とながっていることに更なる感動！！

ほほえみ つながり かがやき … えがおあふれる かみさかべ！！

### 学校教育目標

参考資料 摂陽群談（下）

ウィキペディア 伊佐具神社

フリー図版 ウィキペディア 二条院讃岐 より転載

